



2020年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社 白洋舎
代表者名 代表取締役 社長執行役員 松本 彰
(コード: 9731、東証第一部)
問合せ先 経理部長 丹羽 義己
(TEL. 03-5732-5111)

(訂正・数値データ訂正)
「2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2020年7月31日 15時00分に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。
なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

当社は2020年7月31日に「2020年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を公表いたしました。その後の会計監査人によるレビュー手続きの過程において、記載の内容に一部訂正が生じたので訂正いたします。なお、今回の訂正による損益への影響はありません。

2. 訂正の内容

<サマリー情報>

(訂正前)

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

(訂正後)

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

<添付資料 11ページ>

(訂正前)

記載なし。

(訂正後)

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは当第2四半期連結会計期間末において、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、個人向けクリーニング事業における来店客数の減少や、リネンサプライ事業における得意先ホテルの稼働率の低下等により四半期純損失を計上したことにより、当社のシンジケートローンに係る純資産の金額に係る財務制限条項に抵触しました。同財務制限条項が適用された場合、当該シンジケートローンに係る期限の利益を喪失し一括返済することとなります。

これらの状況から、当第2四半期連結会計期間末において継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる状況が存在していますが、当社グループはこのような状況を解消すべく、事業拠点の統廃合による工場稼働の

効率化によるコスト低減等、当第2四半期連結累計期間以降の業績回復を展望した構造改革の加速化に取り組んでおります。また、資金面では、当連結会計年度の業績予想数値及び翌連結会計年度の事業計画等をもとに金融機関に対し説明を行い、当第2四半期連結会計期間末日において純資産の金額に係る財務制限条項に抵触しているものの期限の利益喪失による一括返還請求権は放棄する旨の同意を得られるよう取り組んでおります。

以 上